# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

**東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。**

**本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。**

<table>
<tr><td>【研究課題名】</td><td colspan="3">水晶体及び眼内レンズの安定性評価</td></tr>
<tr><td>1. 研究の目的と方法</td><td colspan="3">白内障手術の際に、「チン小帯（ちんしょうたい)」と呼ばれる目の中のレンズを支える組織が弱っている場合、手術が難しくなることがあります。また、白内障術後に一部の方では眼の中に入れた眼内レンズがずれてしまう「眼内レンズ脱臼（だっきゅう)」という状態が起きることがあります。<br>こうしたリスクは通常の検査では見つけにくいことが多く、手術中あるいは眼内レンズに偏位が生じて初めて気づくケースもあります。そこで本研究では、通常の診療で撮影された前眼部光干渉断層計の情報から、眼球運動に伴うレンズや虹彩（こうさい：黒目のまわりの部分）の動きを解析し、眼の中のレンズ（水晶体や眼内レンズ）の動きや安定性を調べることを目的としています。</td></tr>
<tr><td>2. 研究期間</td><td colspan="3">倫理委員会承認日～2028 年 5 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。</td></tr>
<tr><td>3. 対象となる方等</td><td colspan="3">白内障手術前後の患者さんで、2023 年 5 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に附属病院にて前眼部光干渉断層計の検査を受けた 18 歳以上の方。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">4. 研究に利用する試料・情報について</td><td>(1) 試料の種類</td><td colspan="2">試料は使用しません。</td></tr>
<tr><td>(2) 試料の取得の方法</td><td colspan="2">試料は使用しないため、該当しません。</td></tr>
<tr><td>(3) 情報の種類</td><td colspan="2">・患者基本情報：年齢、性別、既往歴<br>・疾患情報：疾患名、手術名、治療内容<br>・検査所見：視力、眼圧、屈折値、光学的眼軸長測定装置、前眼部および後眼部光干渉断層計、眼内収差測定</td></tr>
<tr><td>(4) 情報の取得の方法</td><td colspan="2">診療録から診療時のデータを収集します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">5. 研究の実施体制</td><td colspan="3">あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。<br>試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(1) 当施設の研究責任者または研究代表者</td><td>研究機関名</td><td>東京慈恵会医科大学　眼科学講座</td></tr>
<tr><td>氏名</td><td>増田洋一郎</td></tr>
<tr><td>(2) 当施設の長</td><td colspan="2">東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥</td></tr>
<tr><td>(3) 当施設の試料・情報の管理責任者</td><td colspan="2">(1)の研究責任者と同じ</td></tr>
<tr><td>(4) 共同で研究を実施する施設とその</td><td colspan="2">株式会社トーメーコーポレーション<br>塚本 誠</td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| | 責任者 | |
| 6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。<br>共同研究機関では研究対象者の個別データの取得や解析を行わないため該当しません。<br>試料・情報の利用開始予定日：2025 年 12 月頃～ | |
| **【問い合わせ先】** | 機関名：東京慈恵会医科大学附属病院眼科<br>研究責任者：准教授　増田洋一郎（マスダヨウイチロウ）<br>電話番号：03-3433-1111（内線：3581）<br>対応時間：平日 9:00　～　17:00 | |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。